

兵庫県豊岡市における踏査の記録

高田 祐一（奈良文化財研究所）
永恵 裕和（兵庫県立考古博物館）

1. 調査概要

踏査は2023年3月6日・7日に実施した。6日は、豊岡市日高町久斗周辺を踏査し、22の古墳を発見した。7日は、豊岡市但東町小坂を踏査し、鉄滓を採集した大光寺散布地を発見、中世山林寺院跡と想定される大光寺跡を再発見した。

2. 調査の記録

2.1 遺跡の位置

図1に示す。

2.2 CS立体図と遺跡立体図

豊岡市日高町久斗周辺：図2～11

豊岡市但東町小坂：図17～21

遺跡立体図は永恵裕和が作成した。

2.3 現地記録

現地記録では、写真撮影、フォトグラメトリ、iPad-LiDAR、略測、UAV（ドローン）による撮影により記録した。

豊岡市日高町久斗周辺：図12～16

豊岡市但東町小坂：図22～37

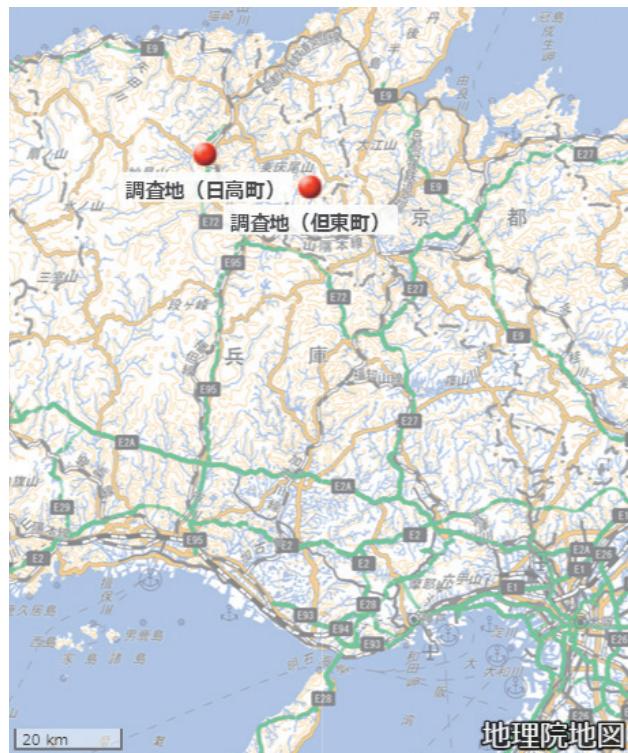


図1 遺跡の位置

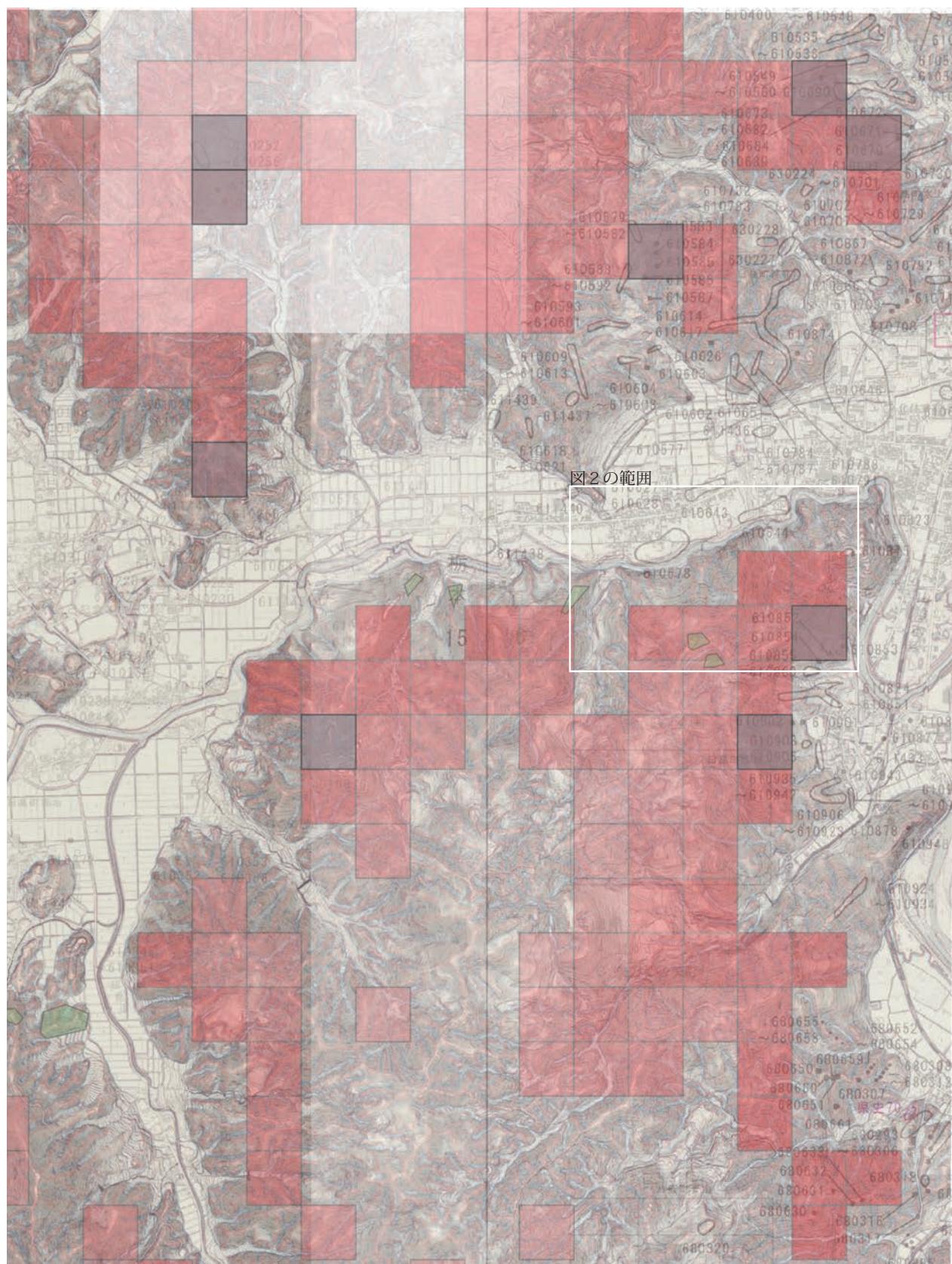


図2 豊岡市日高町久斗周辺でAIが古墳状隆起が存在すると予測した地点（赤色四角）と、兵庫県遺跡地図の重ね合わせ図

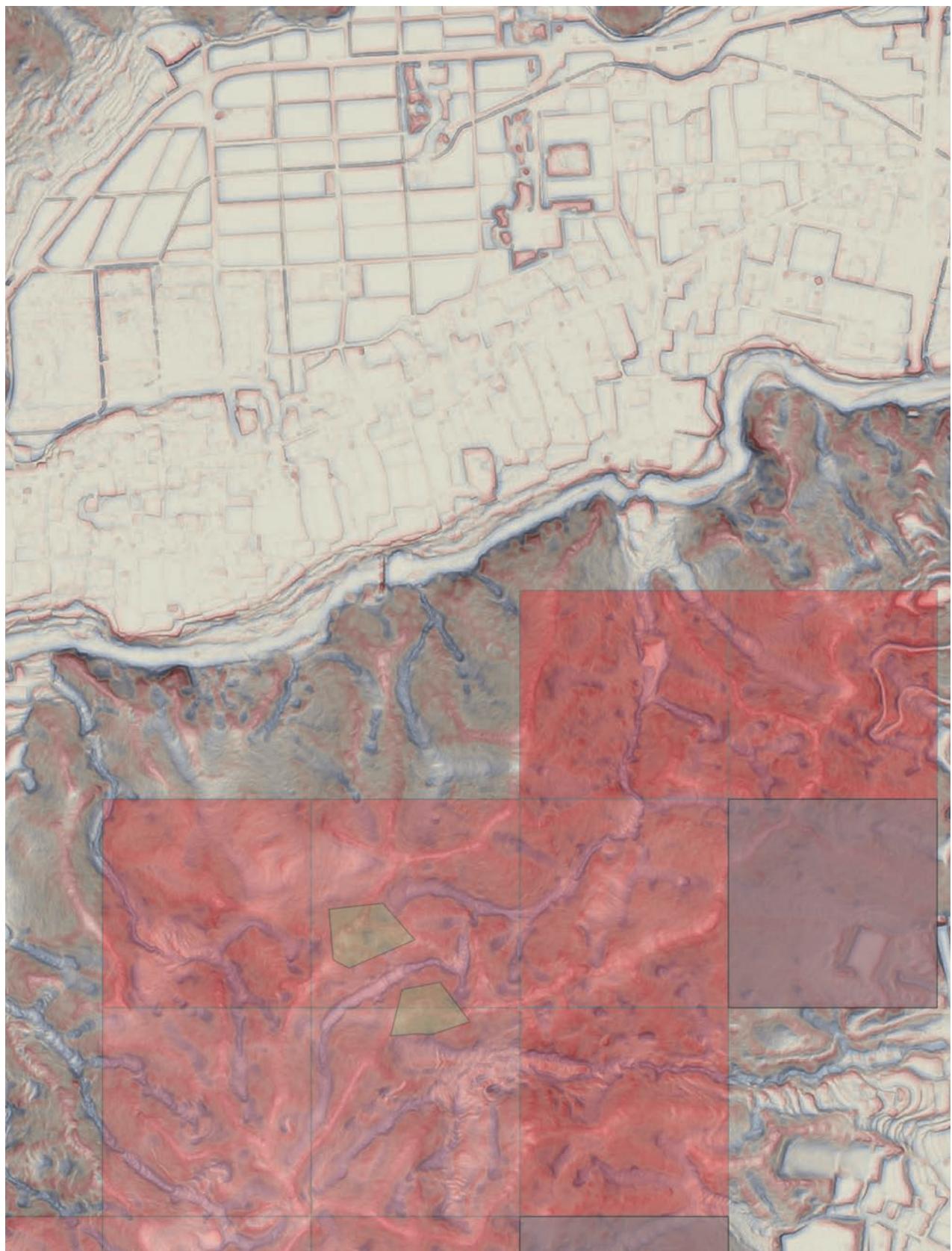


図3 AIが古墳状隆起が存在すると予測した地点（赤色四角）と、
データ上で目視により古墳状隆起の可能性が高いと判断した地点（緑色）

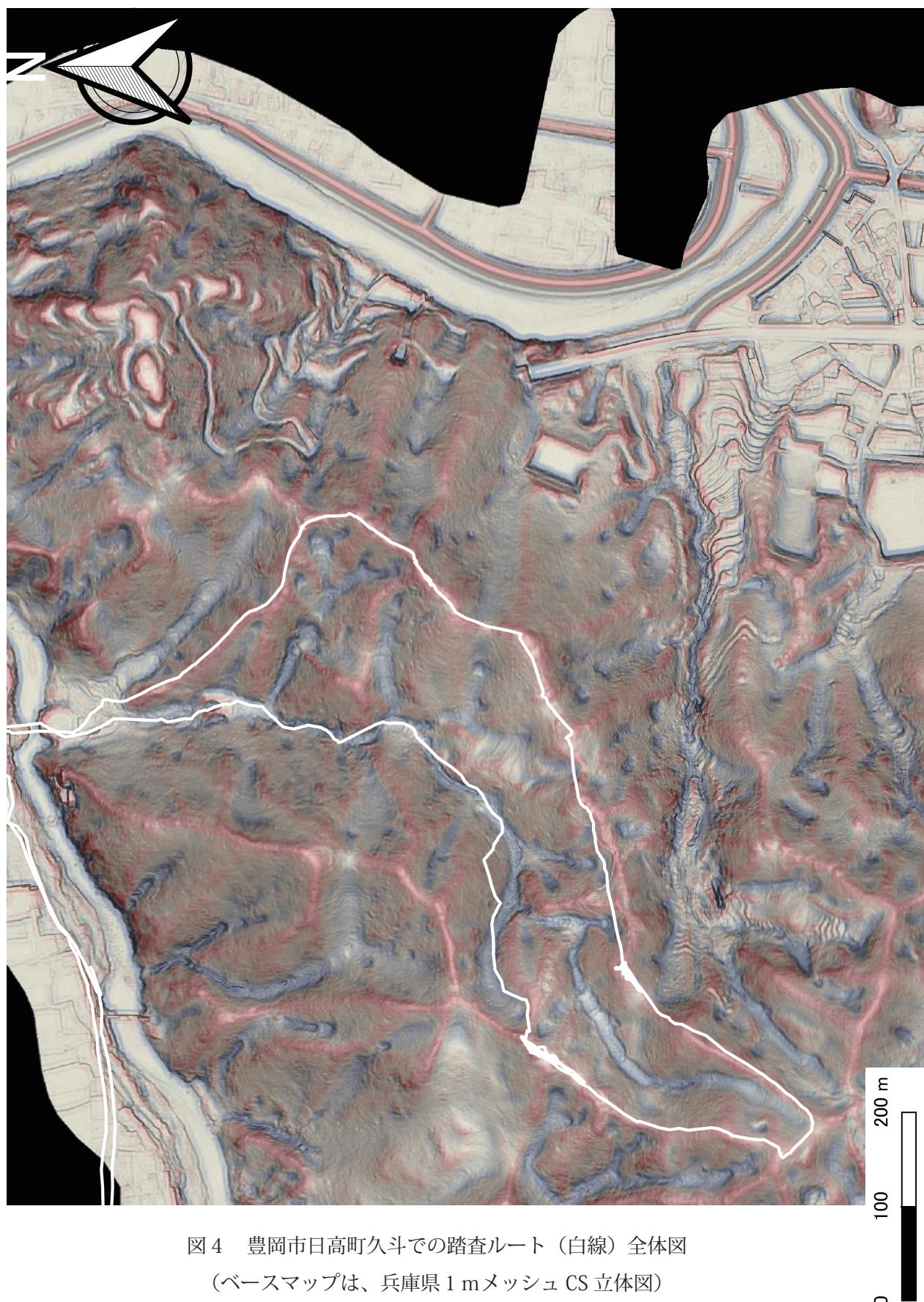


図4 豊岡市日高町久斗での踏査ルート（白線）全体図
(ベースマップは、兵庫県1mメッシュCS立体図)

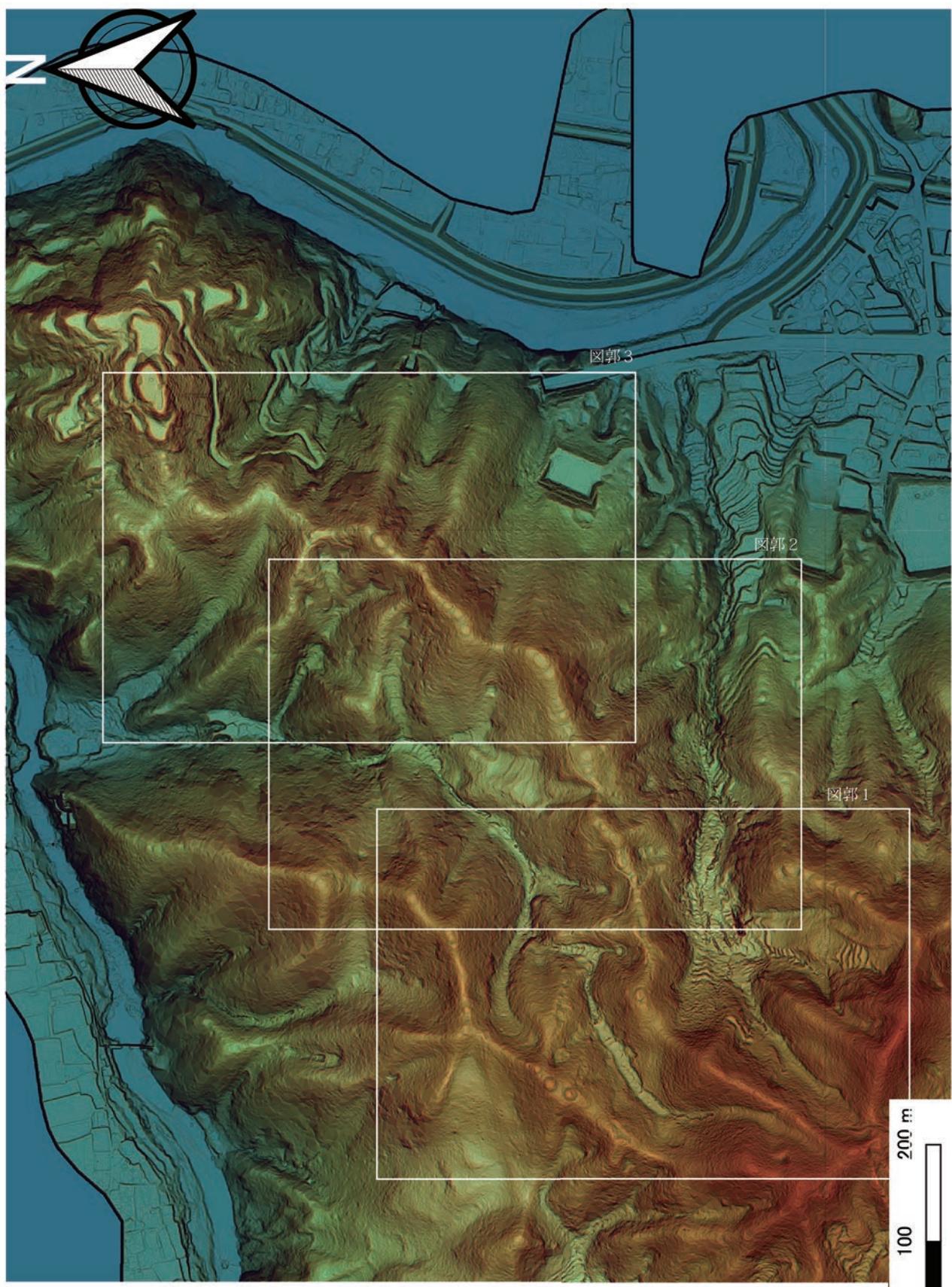


図5 遺跡立体図と各図郭

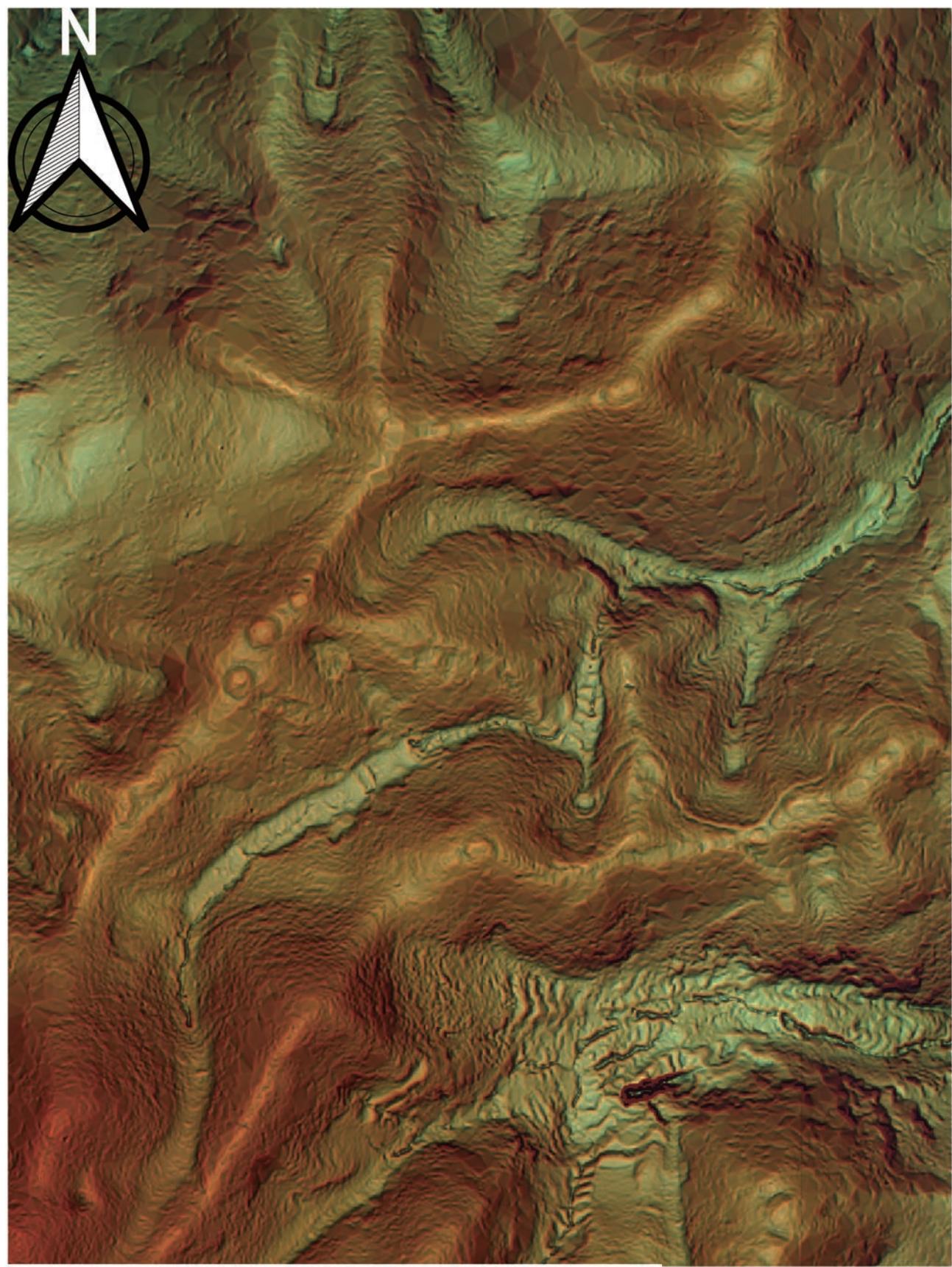


図6 図郭1の範囲の遺跡立体図

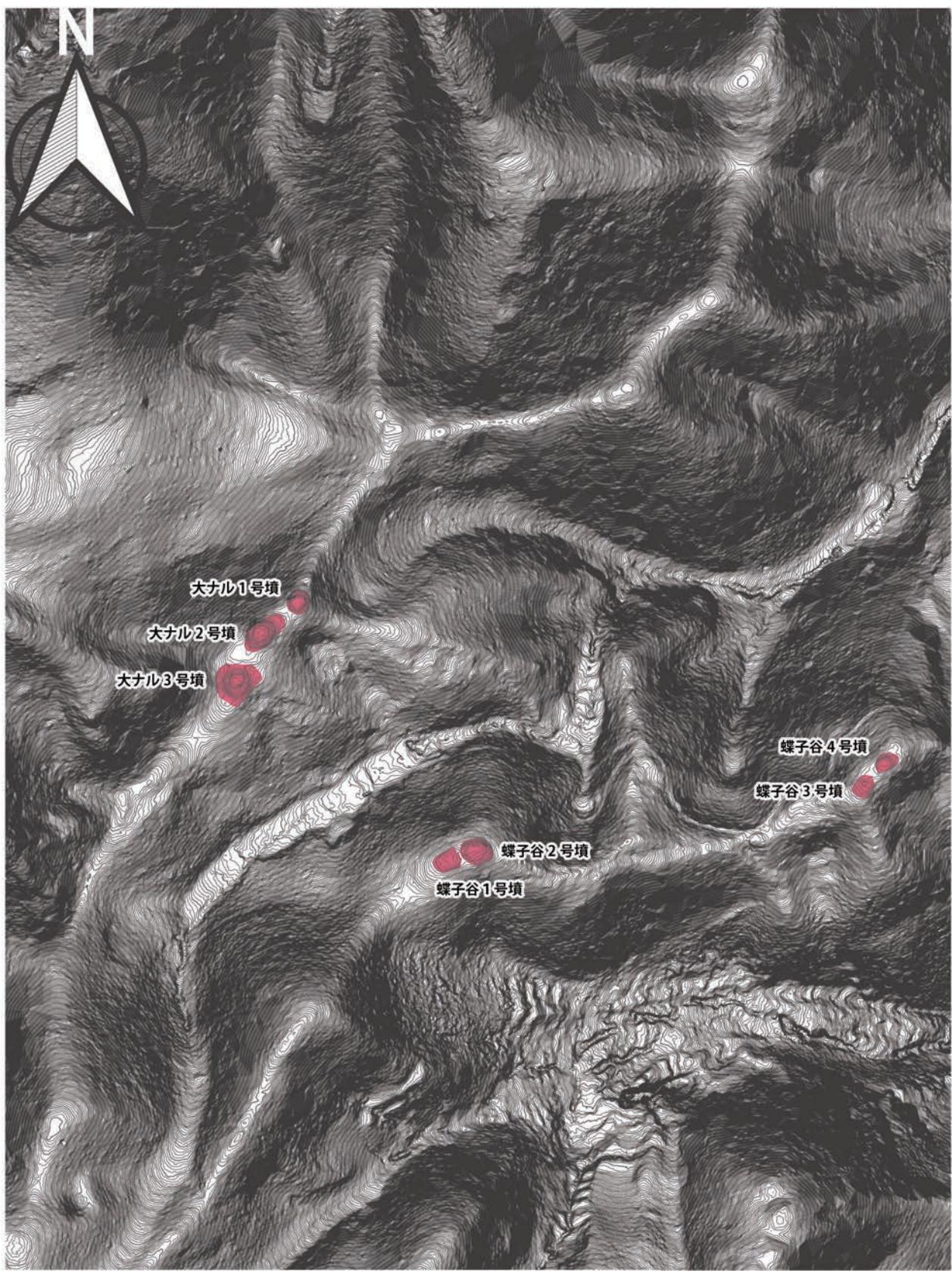


図7 図郭1の範囲の等高線図
(赤色が古墳状隆起を確認した箇所)

0 25 50 75 100 m

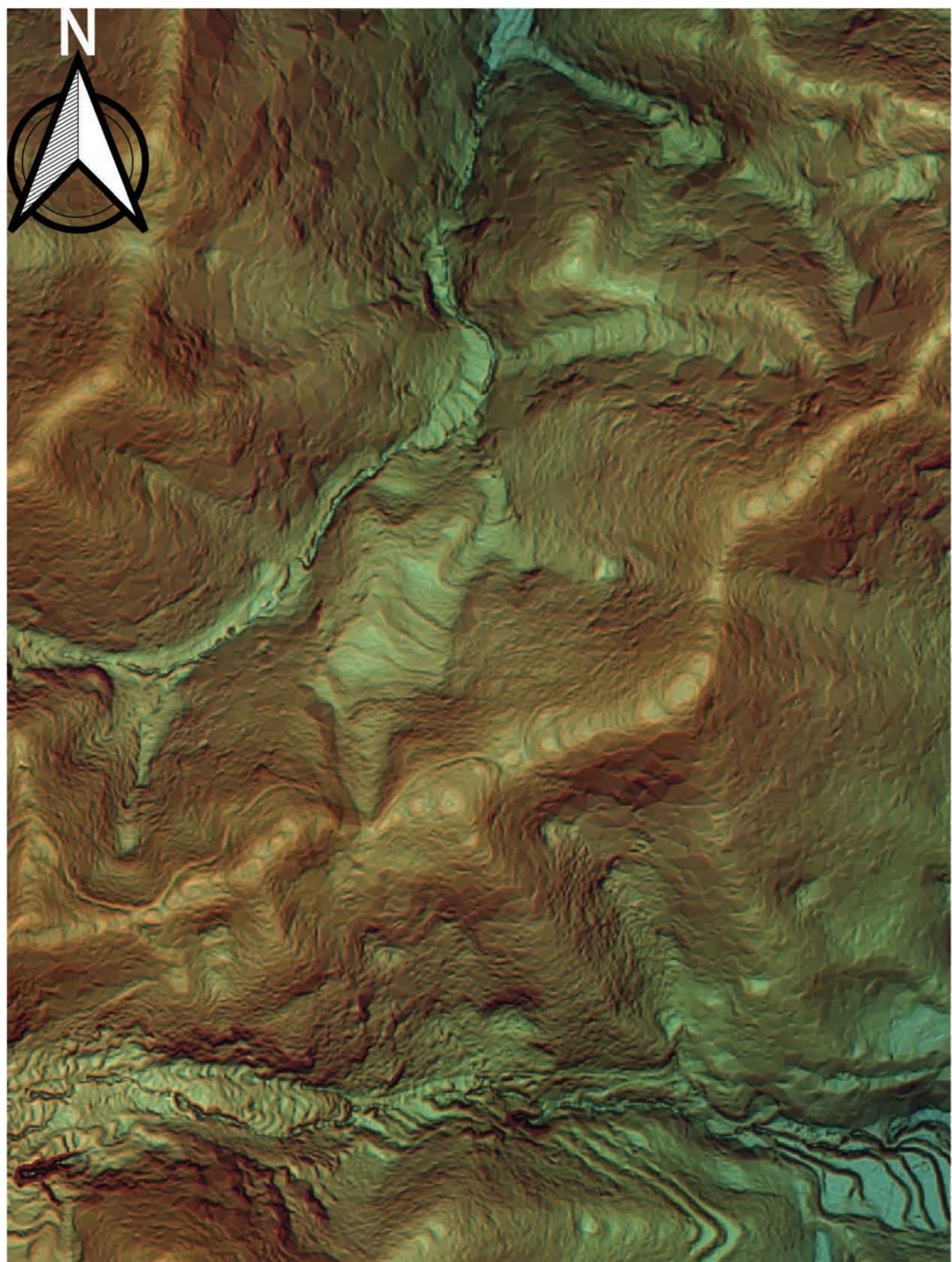


図8 図郭2の範囲の遺跡立体図

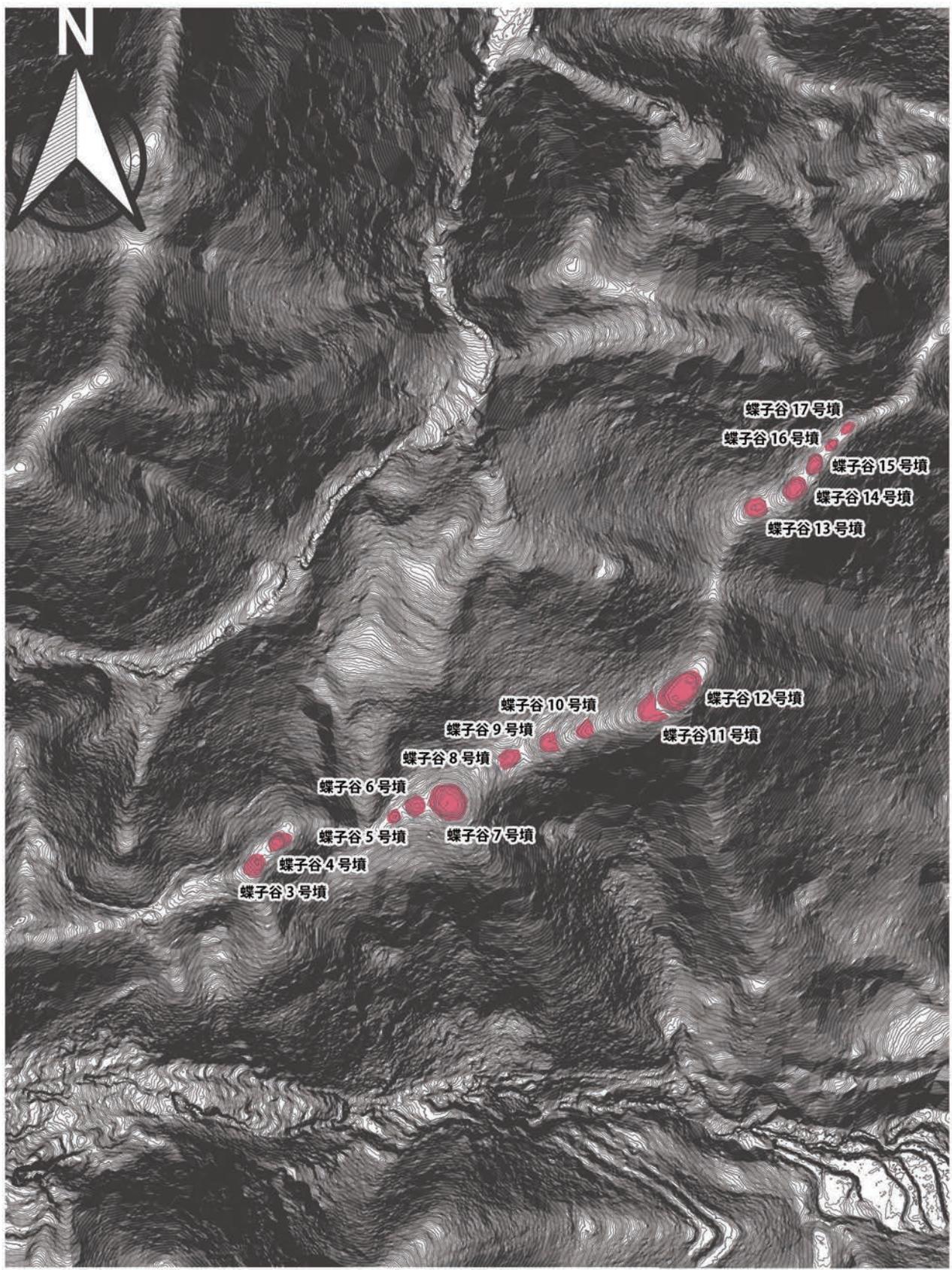


図9 図郭2の範囲の等高線図
(赤色が古墳状隆起を確認した箇所)

0 25 50 75 100 m

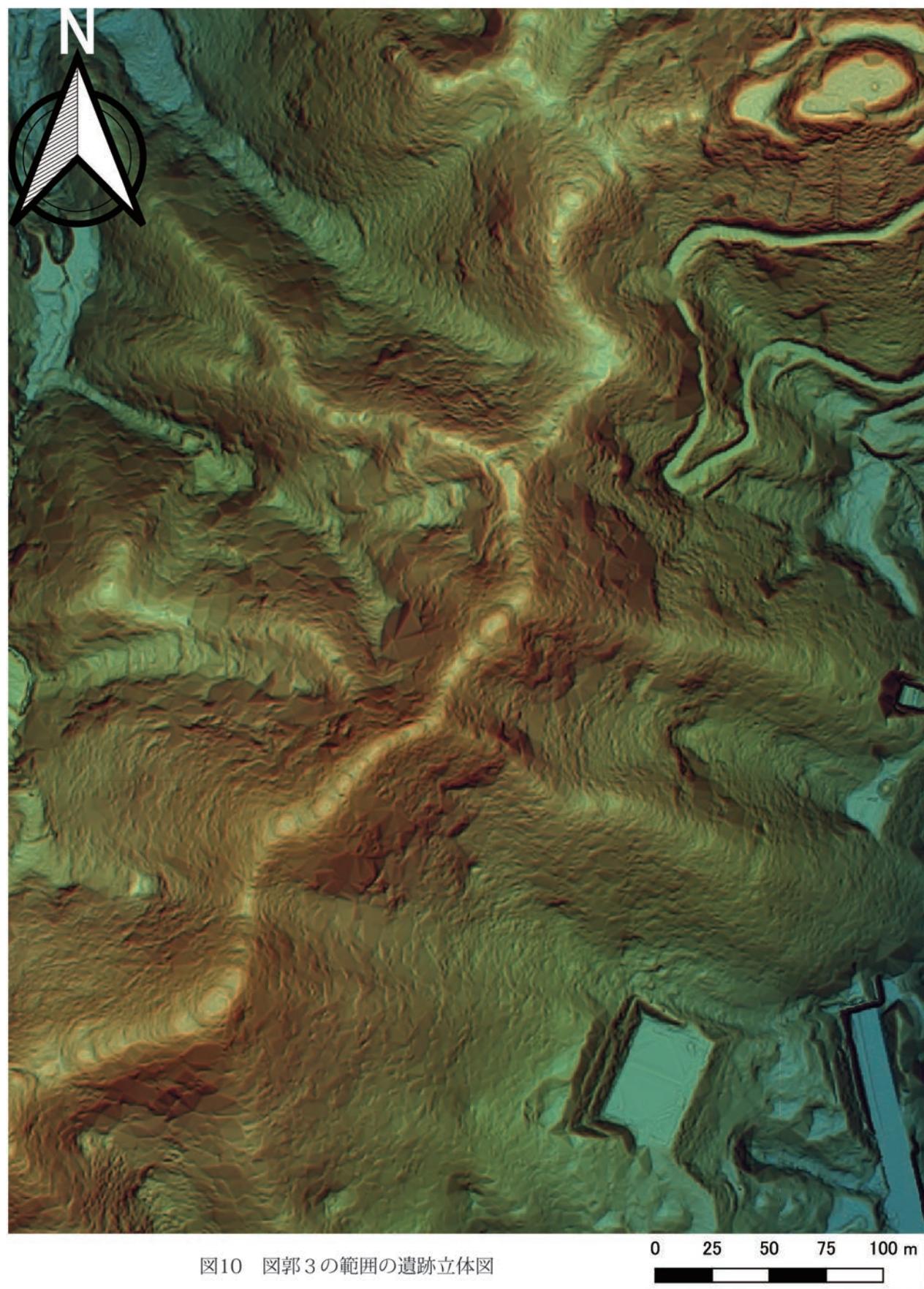


図10 図郭3の範囲の遺跡立体図

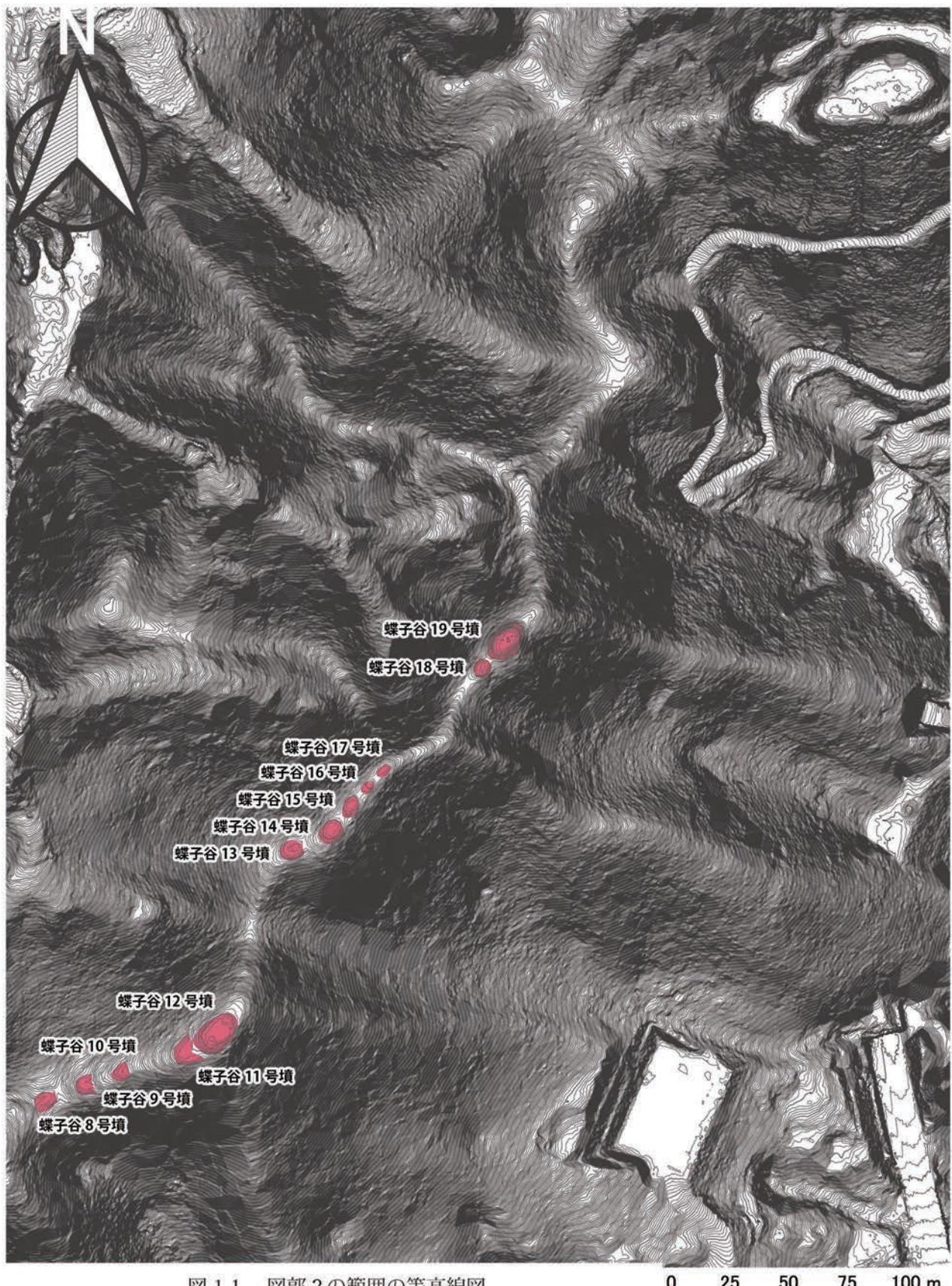


図11 図郭3の範囲の等高線図
(赤色が古墳状隆起を確認した箇所)

0 25 50 75 100 m



図12 大ナル 2号墳



図13 大ナル 3号墳



図14 蝶子谷 1号墳



図15 蝶子谷9号墳



図16 蝶子谷 1号墳 iPad-LiDARによる俯瞰図

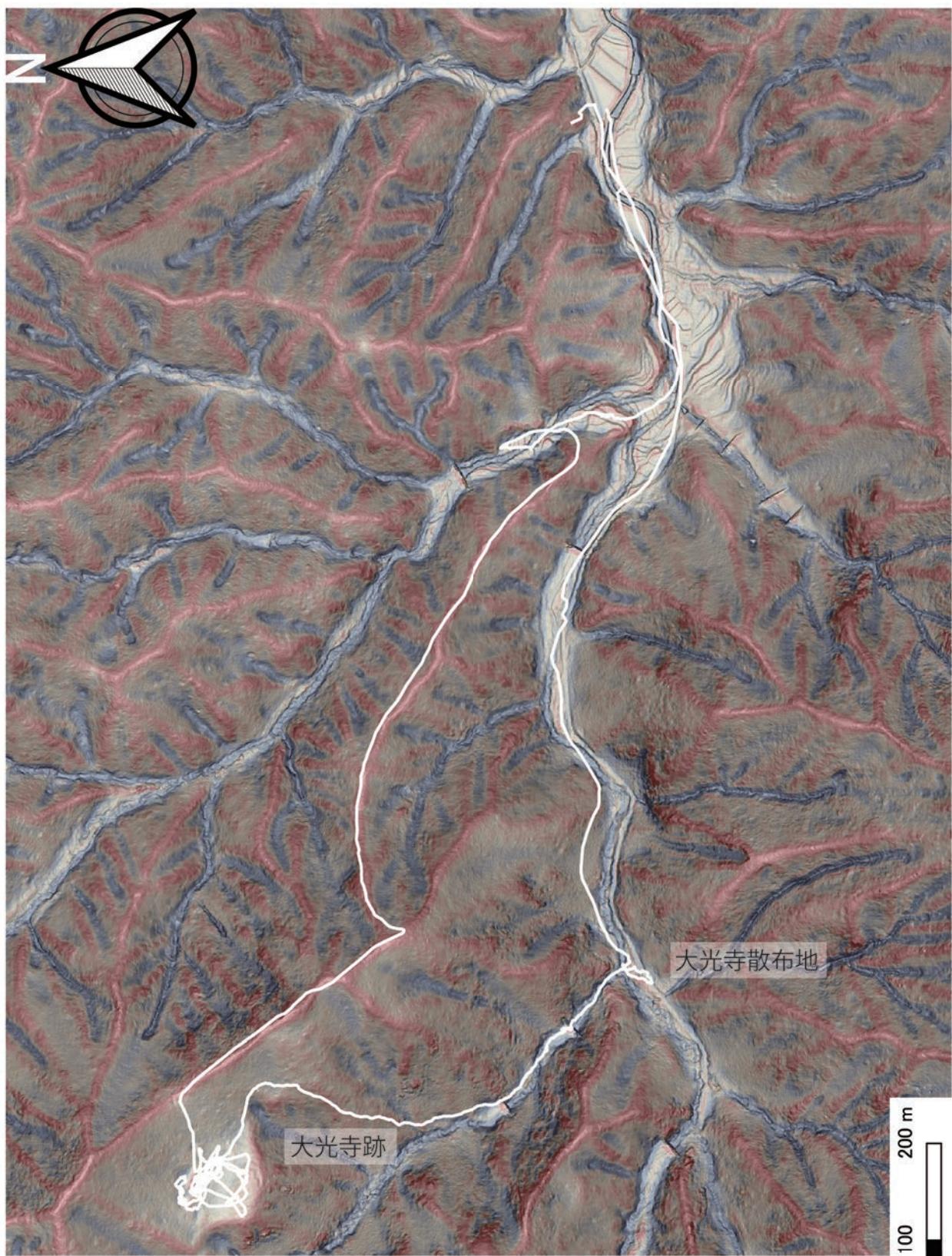


図 17 豊岡市但東町小坂での踏査ルート（白線）全体図
(ベースマップは、兵庫県 1 m メッシュ CS 立体図)

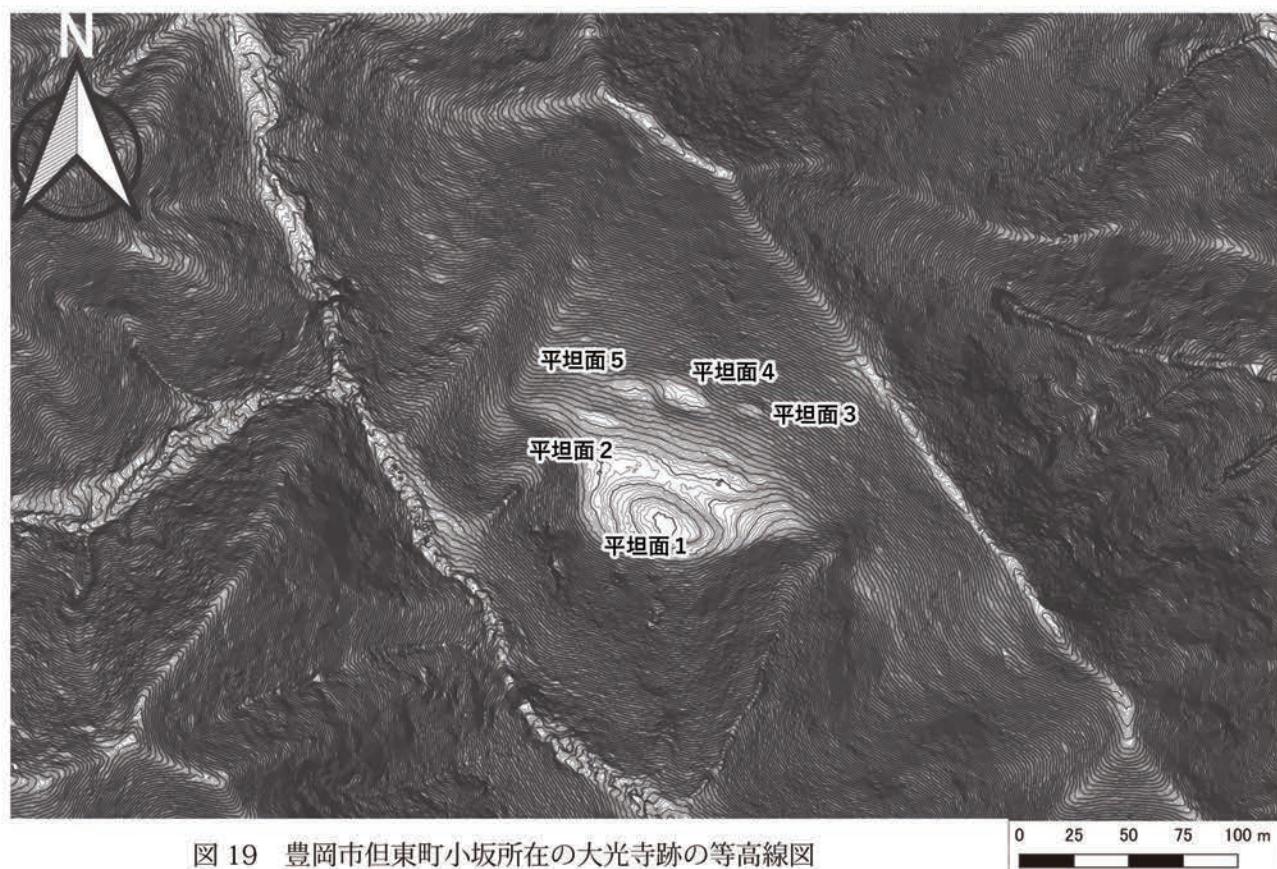
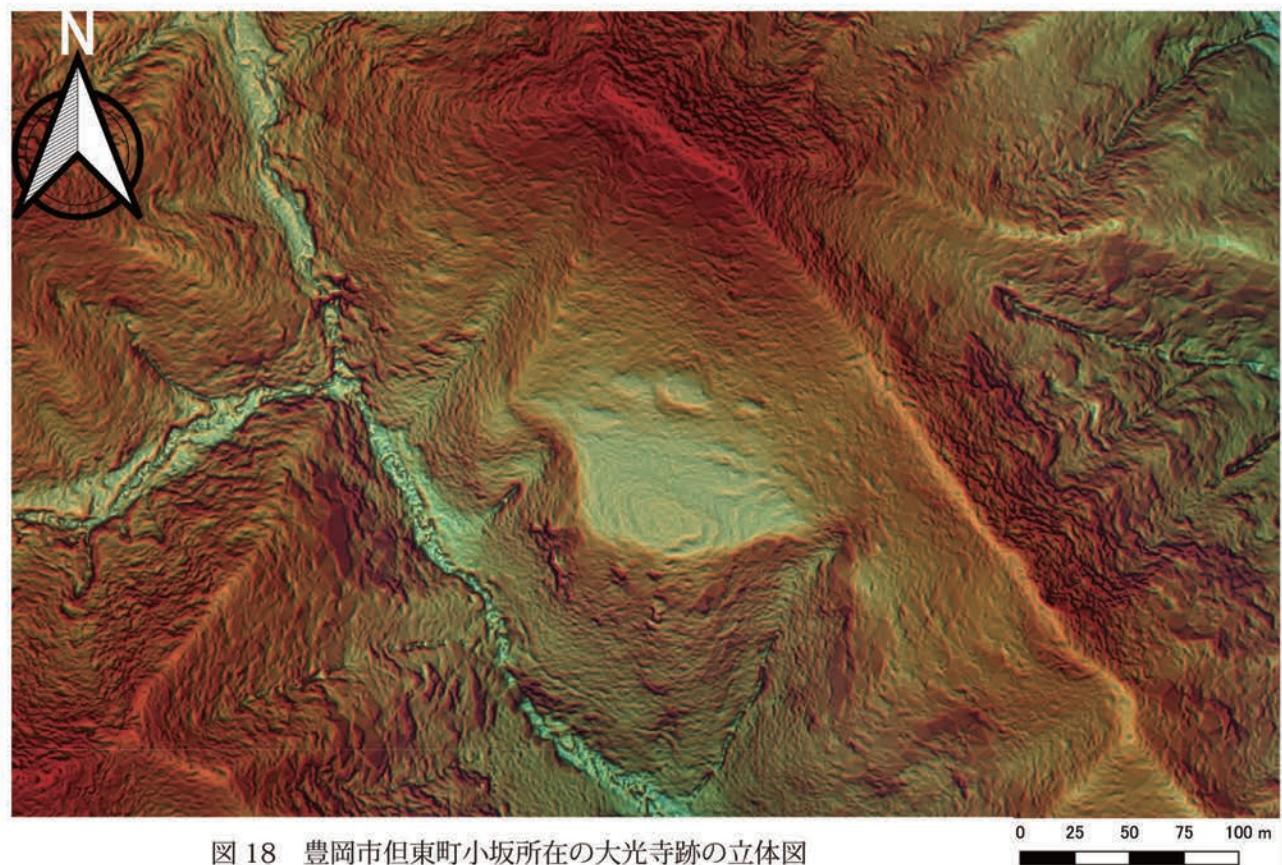


図 19 豊岡市但東町小坂所在の大光寺跡の等高線図

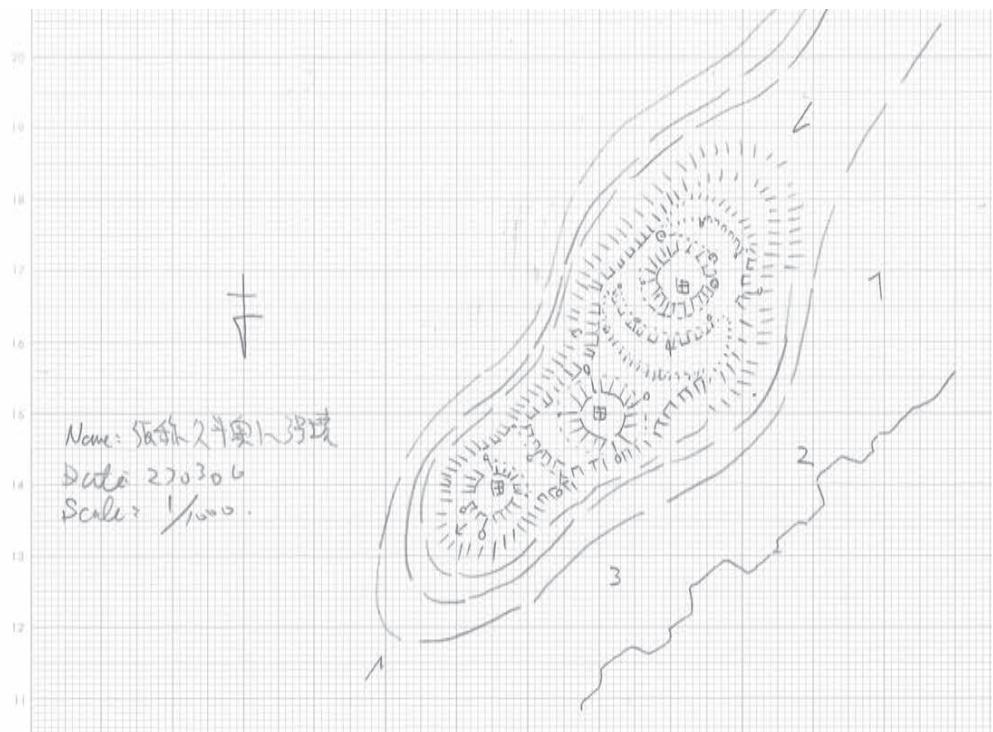


図 20 豊岡市日高町久斗所在の大ナル古墳 1～3号墳の遺構略図



図 21 豊岡市但東町小坂所在の大光寺跡の遺構略図

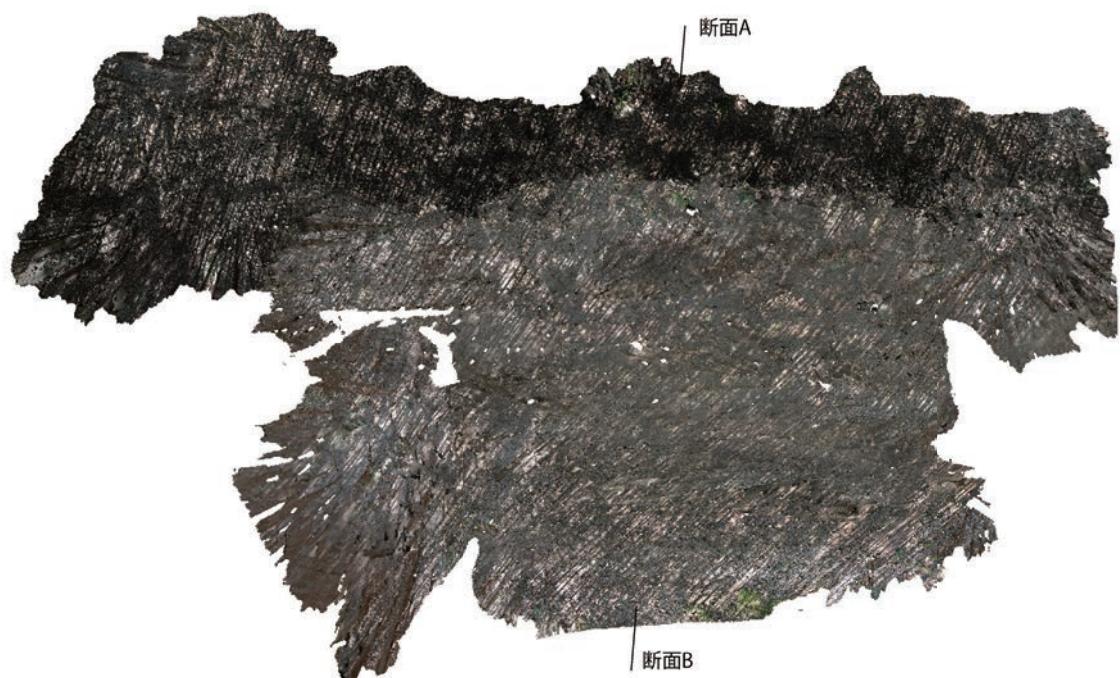


図22 大光寺跡平面オルソ（テクスチャ）左が北

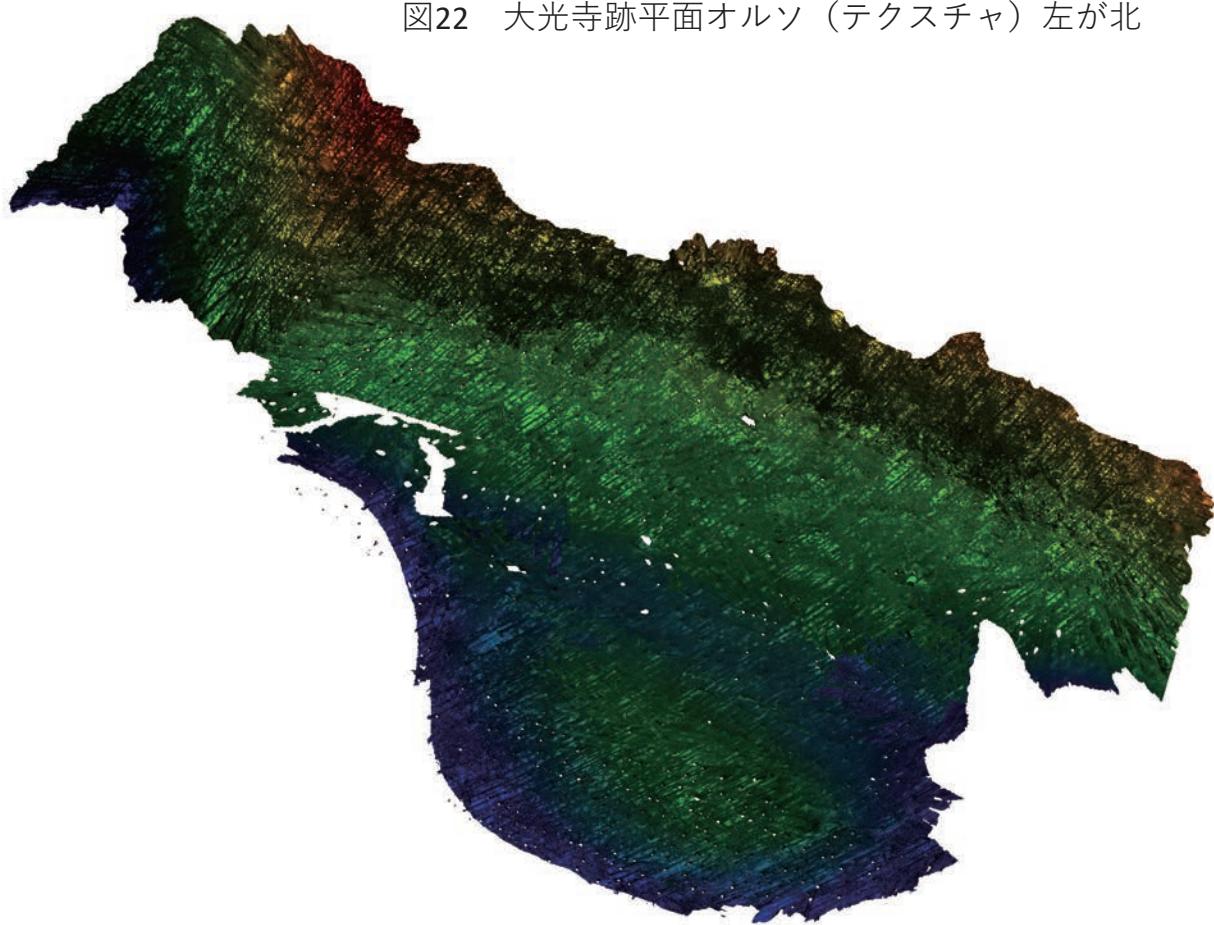


図23 大光寺跡平面オルソ（色別標高図）左が北

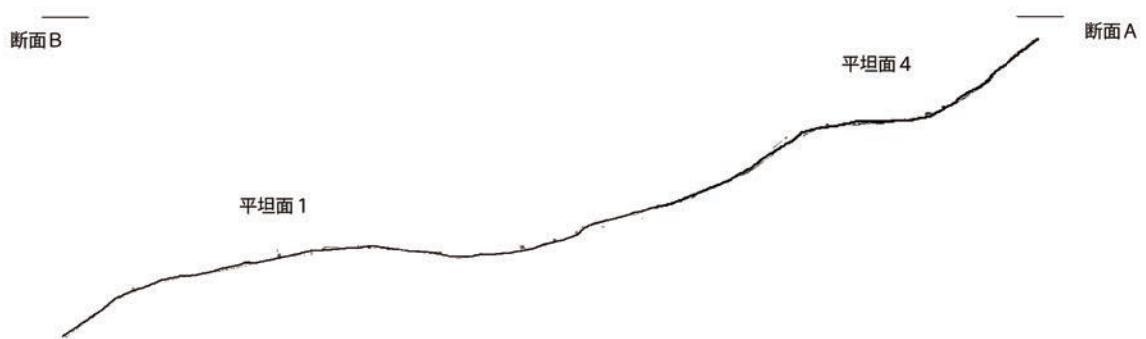


図24 大光寺跡 断面図

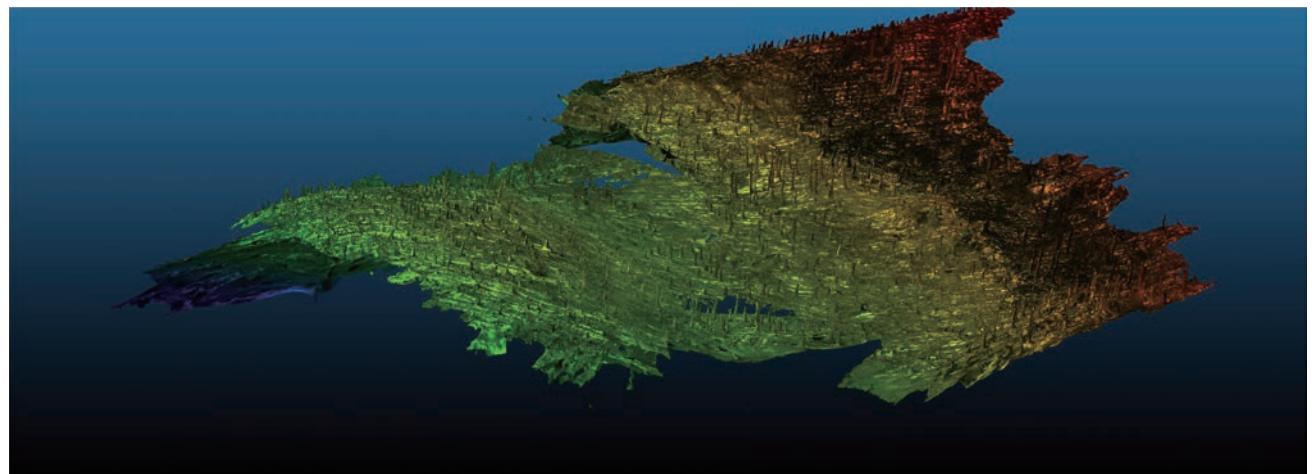


図25 大光寺跡 俯瞰した色別標高図（ソリッド）上が北



図26 大光寺跡 平坦面 1

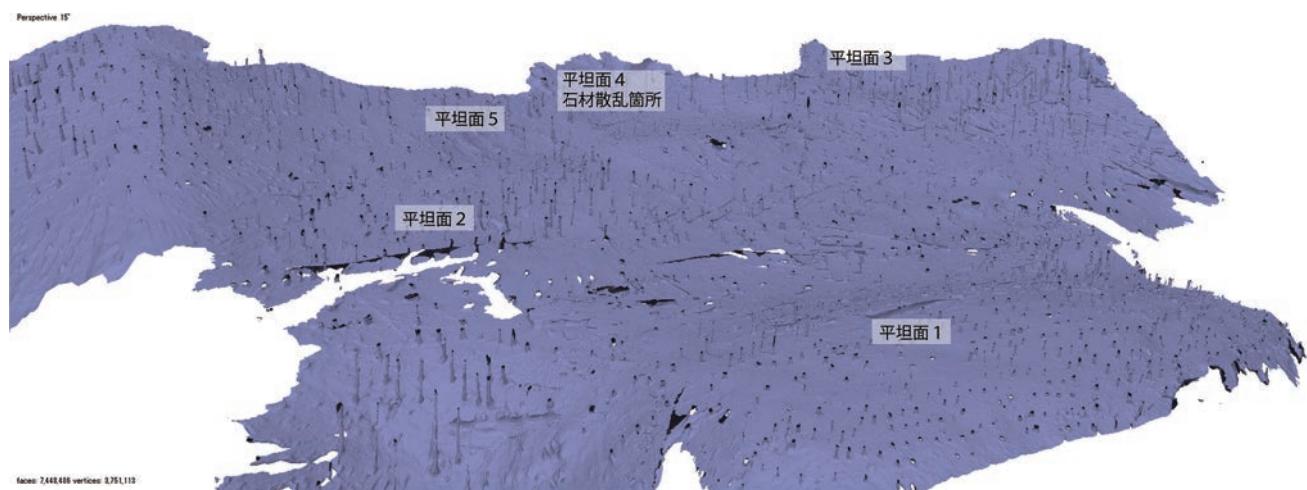


図27 大光寺跡 石材散乱箇所の全体俯瞰図（ソリッド）



図28 大光寺跡 石材散乱箇所の俯瞰図（テクスチャ）

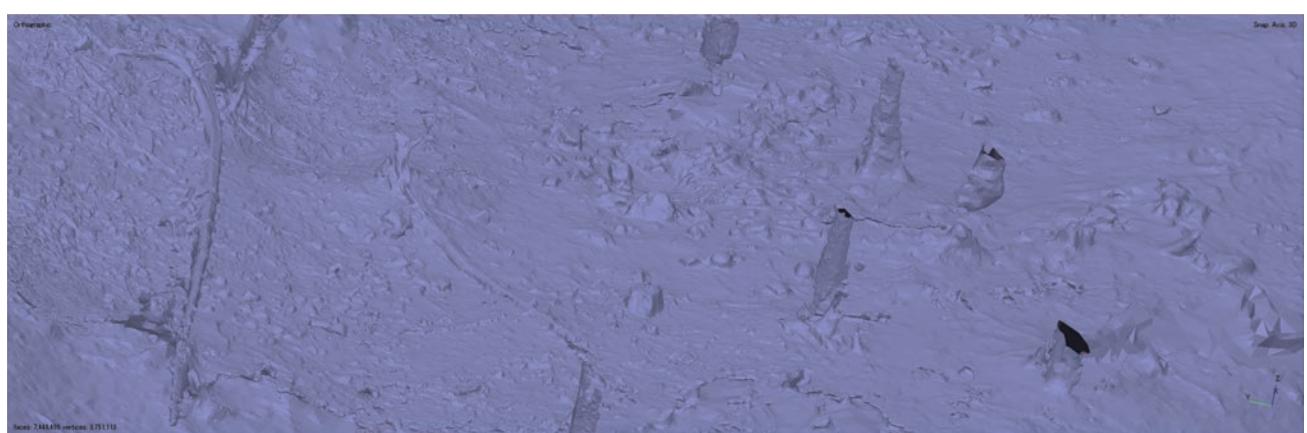


図29 大光寺跡 石材散乱箇所の俯瞰図（ソリッド）



図30 大光寺跡 石材散乱箇所



図31 大光寺跡 石材散乱箇所



図32 大光寺跡 石材散乱箇所



図33 大光寺跡 遺物散布状況



図34 大光寺跡 遺物散布状況



図35 大光寺跡 遺物散布状況



図36 大光寺散布地



図37 大光寺散布地にて採集した鉄滓